

ひまわり

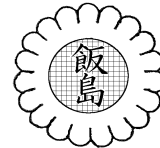
1月号 令和6年1月11日

横浜市立飯島小学校

生きるよろこび

学ぶ楽しさ

のびのび 飯島っ子



新しい年の始まりに

校長 河原 洋之



新年あけまして おめでとうございます。

保護者、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

新しい年を迎えた嬉しさや久しぶりに家族や友達と再会した喜びで日本中に多くの笑顔が溢れていた1月1日、石川県を大きな地震が襲いました。この地震により多くの方々が命を失い、家族を失い、仲間を失い、家を失いました。そして今もなお、安否確認のできていない方々が大勢います。被害に遭われた皆様のお気持ちを考えると、心が痛みます。心よりお見舞い申し上げます。

正月から毎日のように辛いニュースを耳にし、ともすると気持ちも沈みがちでしたが、9日(火)に久しぶりに登校してきた子どもたちと挨拶をしたり、会話をしたりすることで心が和やかになりました。子どもたちの笑顔に秘められた力を改めて感じました。今年も子どもたちの笑顔を絶やさぬよう職員一同努めていきます。

さて、年末の12月23日(土)に開かれた「門松作り講習会」にわたしも参加しました。地域交流室室長の横川様から「門松」の由来や意味などのお話を伺った後、作り方を教わり、参加者が思い思いの門松を作りました。参加者全員が作り終わったあと、互いの作品を鑑賞し合いましたが、一つとして同じ門松はなく、作り手の個性が表れているようにも感じました。門松作りはわたしにとって初めての経験であり、とても楽しい時間になりました。

初めての事に取り組むということは、時として不安を伴う場合があります(わたしの門松作りは全く不安なしでしたが)。不安が大きくなり一歩が踏み出せないこともあります。しかし、一歩を踏み出したことで得られる経験はとても大きいものだと思っています。

2024年、子どもたちには新しいことにどんどんチャレンジしてほしいと思います。「やるまでは不安に思っていたが、やってみたら意外に楽しかった。」なんてことはよくあることです。多くのことを経験し、一回りも二回りも成長してほしい、そう思っています。

2024年が飯島っ子や飯島小に関わるすべての皆様にとってよい年になりますように。